

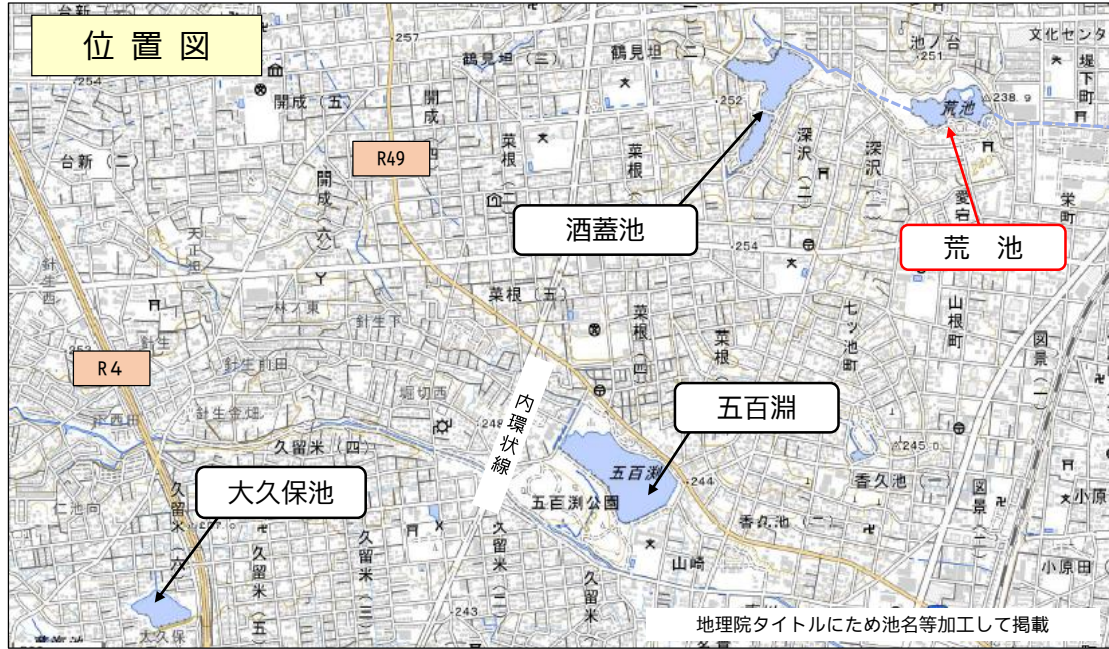
ため池防災・減災事業における浚渫工事について



2022年7月 月例市長記者会見
資料7 農林部農地課

流域治水対策の推進のため「荒池・酒蓋池・五百淵・大久保池」の4池について、現況調査を実施しました。荒池については堆積土砂が少なく、危険度が低いため、浚渫工事については見合わせることにします。

事業費【起債100%(交付税措置70%)】
933,844千円 → 781,489千円



調査結果				
項目	荒池	酒蓋池	五百淵	大久保池
現況貯水量 (m3)	35,600	37,100	38,800	10,100
浚渫土量 (m3)	1,400	23,800	6,500	9,300
浚渫後貯水量 (m3)	37,000	60,900	45,300	19,400
堆砂率 (%)	4%	39%	14%	48%
浚渫面積 (m ²)	14,000	34,000	35,000	12,700
平均浚渫厚 (cm)	10	70	20	75

堆砂率の基準	
阻害状況 (堆砂率)	危険度の区分
堆積なし	経過観察
10%未満	優先 (4か年程度で対策実施)
10~20%未満	重点 (2か年程度で対策実施)
20%以上または危険な状態	

※緊急浚渫推進事業債における取扱いについて(周知)より一部加工
(令和4年4月1日付け事務連絡:国土交通省・農林水産省・林野庁・総務省)

凡例	堆積(浚渫)箇所	浚渫不要箇所
荒池 (堆砂率 4%)		
荒池 (堆砂率 4%)		
酒蓋池 (堆砂率 39%)		
五百淵 (堆砂率 14%)		
大久保池 (堆砂率 48%)		